

「田検小学校・田検中学校の八月踊り伝承活動の取組」

1 学校名

宇検村立田検小学校，宇検村立田検中学校

2 学年・人数

小学1年生から中学3年生（計88名）

3 日時・場所

(1) 練習の日時（場所）： 田検中学校校庭（9月）

(2) 発表の日時（場所）： 田検小中学校合同大運動会（9月）

4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能，伝統行事について

(1) 名称：八月踊り（はちがつおどり）

(2) 由来

奄美には昔から豊作を祝って、「豊年祭」という祭りが行われている。子どもや男衆による相撲が奉納され，その土俵を囲んで行われるのが八月踊りである。祭りの日だけでなく準備期間中も，夕食が終わった頃に土俵の周りに集落民が集まり，輪になって踊る。

踊り方が集落によって異なるため，田検校区の4集落の踊りを毎年交代で踊り継いでいる。始まりが定かではないが，運動会の種目として20年以上続けている。

(3) 構成等

手提げ太鼓のチヂンを複数名が叩き，各集落のお年寄りの方々が歌う八月唄に合わせながら，運動会の参加者が全員で校庭に輪になって踊る。

本年度は，芦検集落の踊りを4曲踊った。

5 保存会や地域との連携の具体

毎年，9月上旬に集落の区長と打ち合わせを行い，八月踊りを指導してくださる集落の方を集めていただくよう依頼と指導していただく日程を決定している。

集落によっては保存会があるが，保存会がない集落も含めて，全ての集落で昔から受け継がれてきている。

6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

8～9月にかけて各集落で行われる「豊年祭」へ，児童生徒も積極的に参加をしているため，地域活動を通して八月踊りを自然に覚えている。また，踊りはできるが，唄を歌うことができないという方が少しずつ増えてきている。そこで，集落で作成した八月踊り歌詞集等を活用した練習も行っている。

今後は，運動会の八月踊りで踊る曲については，音楽の時間などを利用して，児童生徒が歌えるような手立てをとっていく必要がある。

7 取組の様子



練習の様子



合同大運動会での発表



合同大運動会での発表



合同大運動会での発表

8 参加児童生徒・保護者・保存会・教員等の感想・意見

- ・ 「いっしょうけんめい，じょうずにおどれました。」（児童）
- ・ 「住んでいる所とは，別の八月踊りを踊ることができ，とても楽しかったです。」
（生徒）
- ・ 「たくさんの人と踊ることができたので楽しかったです。」（生徒）
- ・ 「地域の方が丁寧に教えてくださったので，踊れるようになりました。集落ごとにまったく違う振り付けなので，様々な集落の振り付けが楽しめてうれしいです。」
（教職員）
- ・ 「大人と子どもが一つの輪になって踊る姿を見て，温かい気持ちになりました。」
（保護者）
- ・ 「ずっと昔から続いている伝統なので，これからも引き継いでほしい。」（保護者）
- ・ 「ただ踊るだけではなく，八月踊りの歌詞の意味や歴史などを学ぶ機会があっても良いと思います。八月踊りをさらに深く知ることができると思います。」（地域の方）
- ・ 「地域の方と子どもが作る大きな輪は，壮観でした。この子らが大人になり，伝統を受け継いでいくことを願います。」（地域の方）